

森林工芸館の あれこれ

no.35
2
2023

一九八三年の誕生から
めまぐるしい成長が続いたオケクラフト
誕生から十年が経過したころ
絶対的な存在であつた秋岡芳夫さんが逝去
クラフト・パーク構想への動きとともに
認知度の高まりをみせる「秋岡コレクション」
様々ななかたちで
「オケクラフトを作り上げるものたち」
を広める活動が始まったように感じられます

森林工芸館のあれこれ no.35 では
「あらたなはじまり」として
【オケクラフトの歴史 No.7】
二〇〇〇年から二〇〇五年までの歴史について
ご紹介します

N.O.7 オケクラフトの歴史 since 1983

2000年

- 3月 ◎ オケクラフト時松塾開始 pick up
⇒休止期間を経て募集再開
- 5月 ◎ オホーツク「木」のフェスティバル pick up
⇒日本の手仕事道具・秋岡コレクションの展示・実演
◎網走管内9館によるクラフト街道展

2001年

- ◎ どま塾 絵付け教室作品展示会

2002年

- 2月 ◎ フレッシュクラフトメン新作展（若手作家9名展）
- 3月 ◎ 悠遊手仕事展（東京在住作家7名展）
- 5月 ◎ オホーツク「木」のフェスティバル pick up
⇒オケクラフト作り手による実演・体験

2003年

- オケクラフト20周年記念 pick up
- The桂展（8月23日～31日）
- 巨樹・巨木サミット（8月28日）/CWニコル氏基調講演
- オケクラフト感謝フェア（9月23日）/馬力だすべえ祭出店
- 初めての体験工房開催（10月）
- 木のおもちゃ展開催（11月）
- 「お正月展」（12月26日～1月3日）@東京松屋銀座本店

2004年

- 3月 ◎ オケクラフト札幌展 @札幌バークホテル
⇒オケクラフト20周年記念展示会として実施された
- ◎ 江戸鍛冶 左久作氏を講師にどま塾開催
⇒刃物の作り方と研ぎ方@どま工房

2005年

- 2月 ◎ 「道具が伝える日本人の知恵とかたち展」 pick up
⇒江戸期から現代までの資料約120点を出展
- 5月 ◎ 「ポプラクラフト置戸展」 pick up
⇒北大ポプラ再生プロジェクト



pick up

オケクラフト時松塾

研修制度が始められてから十四年の間に三十五名の研修生が技術等を学んだものの、様々な要因により作り手として独立した研修生が三分の一程度となつたことから、一九九九年から一年間、研修生の募集を休止。研修制度を検討し直し、「オケクラフト時松塾」として、新たに二〇〇〇年より新規塾生の募集を開始した。

The桂展

二〇〇〇年に「森の巨人たち百選」に三本桂が選定。巨樹・巨木サミットの開催。さらにオケクラフト二十周年を記念して、桂を使用した作品の展示が開催された。桂を使用した作品の展示はほか、各種体験コーナー等が設けられている。二〇〇〇年には「日本の手仕事道具」展示のほか、各種体験コーナー等が設けられていた。二〇〇二年にはオケクラフトの展示と合わせて、作り手による実演も披露された。二〇〇二年にはオケクラフトの展示と合わせて、作り手による実演も披露された。

【お正月展】 「はじめての体験工房」

木工ろくろでの器づくり体験を実施。参加者3名に対し、講師一名が対応し、それぞれに作品を作り上げた。

【お正月展】
木工ろくろでの器づくり体験を実施。参加者3名に対し、講師一名が対応し、それぞれに作品を作り上げた。

ポプラクラフト置戸展

二〇〇四年に発生した台風十八号により被害を受けた北海道大学のポプラ並木を、オケクラフトに再生させようという試みが始まわり、同年十二月、北大の好意のもと譲り受けたポプラが、制作された。製作されたオケクラフトは、翌年の三月「オケクラフト札幌展」で、展示販売された。

北大ポプラ再生プロジェクトは、この図書館化を目指し、教材向けに資料の貸出し希望があるかどうかなども合わせて調査された。

秋岡コレクションの企画展示

北大ポプラ再生プロジェクトは、この図書館化を目指し、教材向けに資料の貸出し希望があるかどうかなども合わせて調査された。